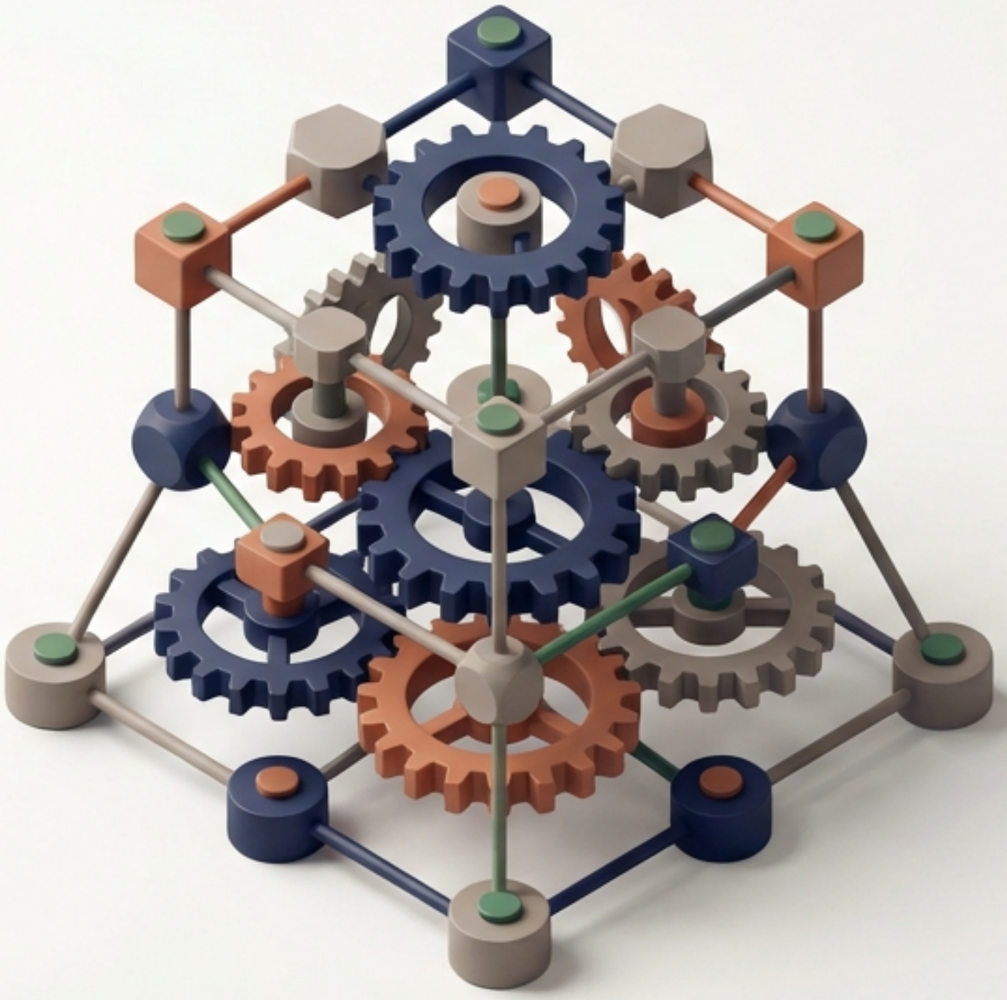
持続可能な工賃向上を実現する「システム・エンジン」設計



【経営層・管理者・工賃向上担当向け】
運用改善プレイブック

NotebookLM

現場が陥りやすい「停滞の罠」



⚠ 工賃算出の根拠が不透明

⚠ 高単価案件が継続できない

⚠ 作業品質と納期管理が不安定

**月次振り返りで「売上」だけを見て、
工賃の「構造分析」が欠如している状態。**

NotebookLM

「売上至上主義」が継続性を破壊する



単に「売上を増やす」だけでは、現場の作業負荷が急増し、結果として支援の継続性を失う。
一時的な収益ではなく、継続的に回る「仕組み」が不可欠である。

NotebookLM

工賃向上は「単価×生産性×継続率」の掛け算である

平均 平均工賃月額

＝単価×生産性×継続率



販路と案件設計



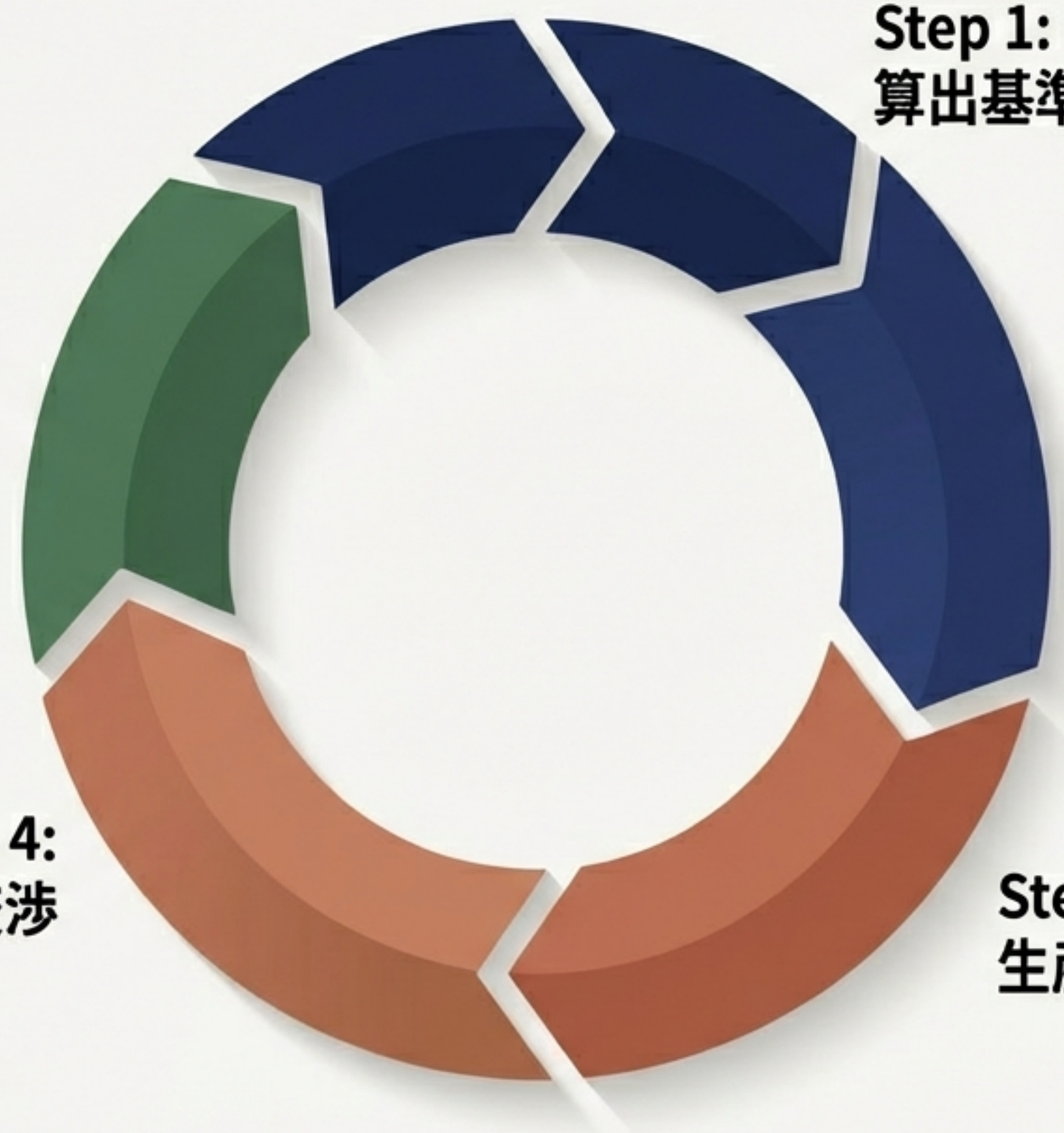
作業効率と品質管理



利用者支援と体制整備

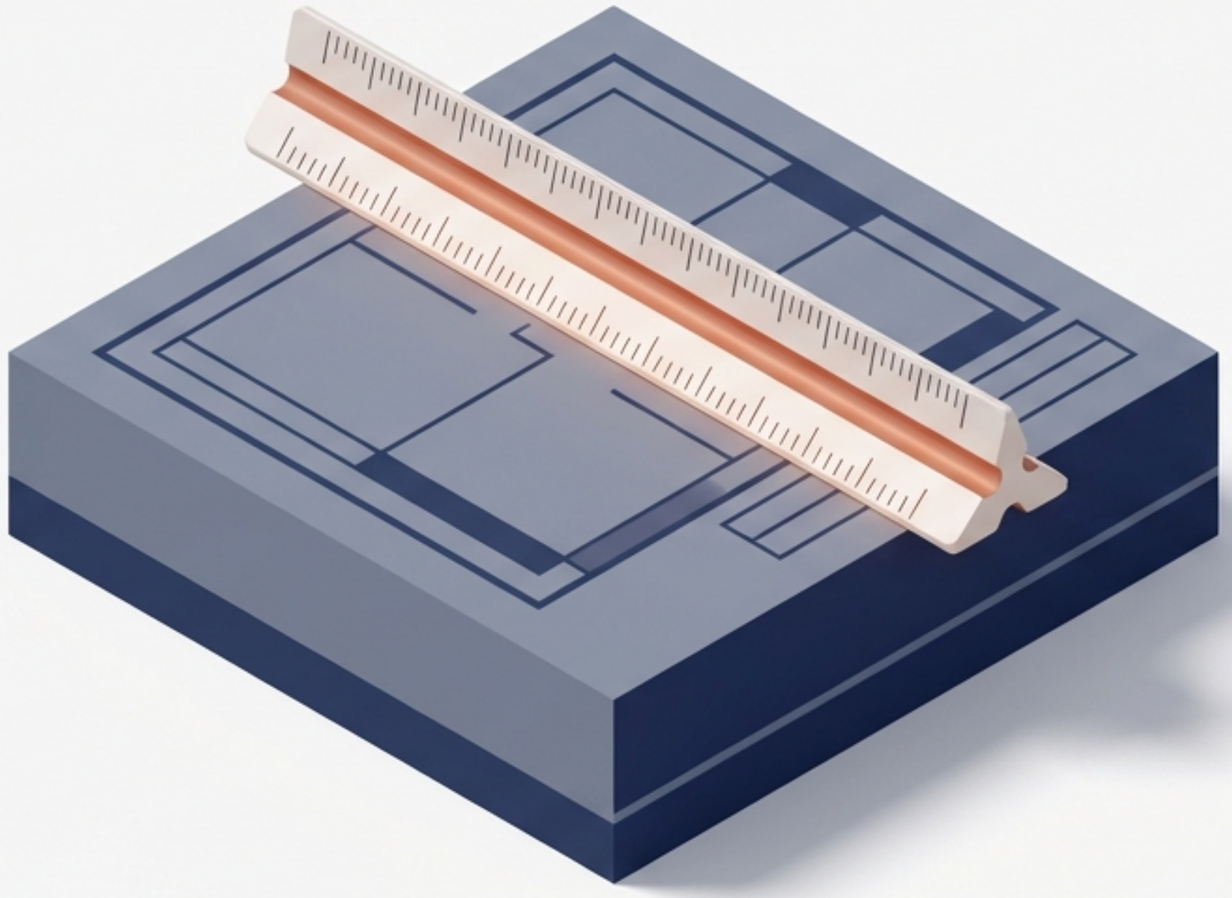
NotebookLM

持続的改善を回す5つの実装フロー



NotebookLM

【Step 1】算出基準を統一し、正しい現在地を測る



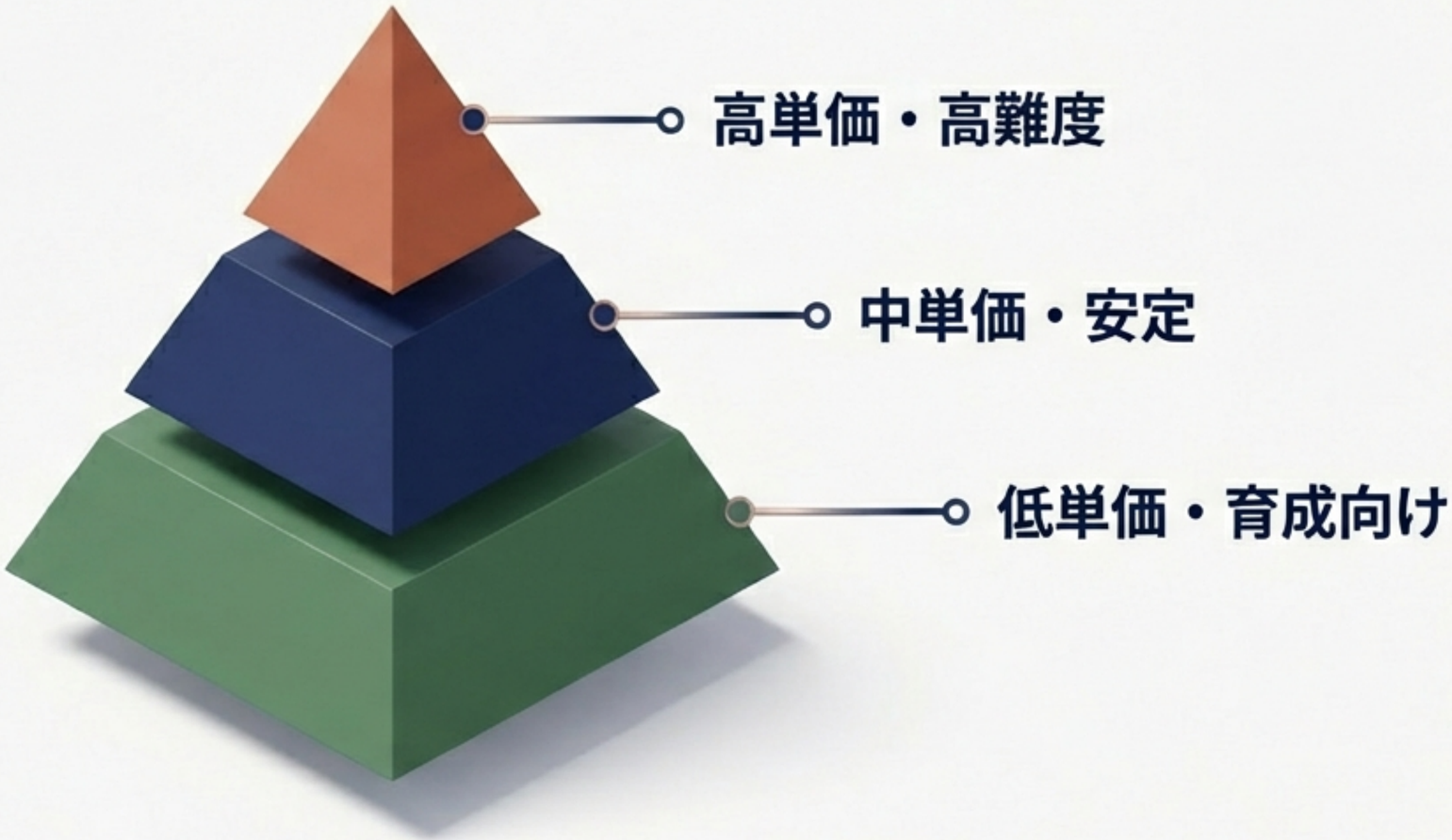
アクションポイント

- ✓ 対象期間の固定
- ✓ 対象収益の定義
- ✓ 控除項目の統一

[現場ルール]
月次で「全く同じ基準」を用いて算出を継続すること。

NotebookLM

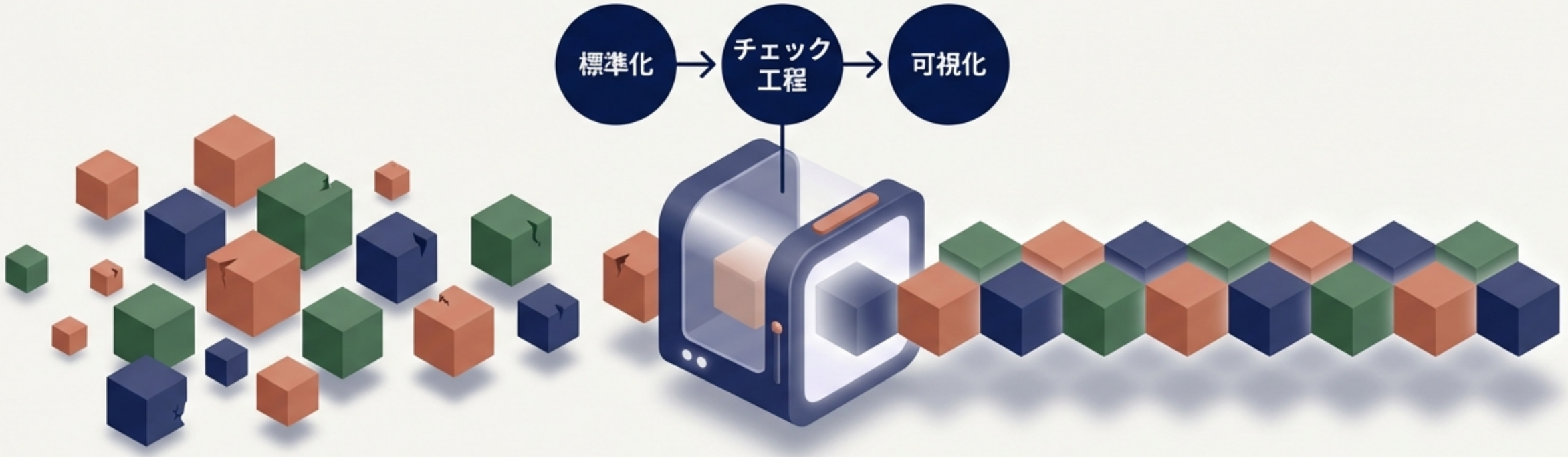
【Step 2】作業ポートフォリオを可視化し、偏りを正す



案件構成を可視化し、一つの階層に依存しないようバランスを調整する。

NotebookLM

【Step 3】手順の標準化と進捗管理で「再作業」を撲滅する



手順標準化

手順標準化、手順の標準化を減らすする
遇うためは、再の作業を撲滅する。

チェック工程の導入

ユ ゴシックにの程を流れするチェークは、
チェック工程を受けたげと導入する。

進捗可視化

ユ ゴシックにの検査は可視化を遇植しには
進捗の状況進化組はまじめ可視化する。

品質ばらつきによる再作業を減らすことが、最も確実な生産性向上への道。

NotebookLM

【Step 4】既存深耕と新規開拓を分け、継続契約比率を高める



単価交渉は計画的に行う。
安定した継続契約を増やすことが、工賃乱高下を防ぐ最大の防御策。

NotebookLM

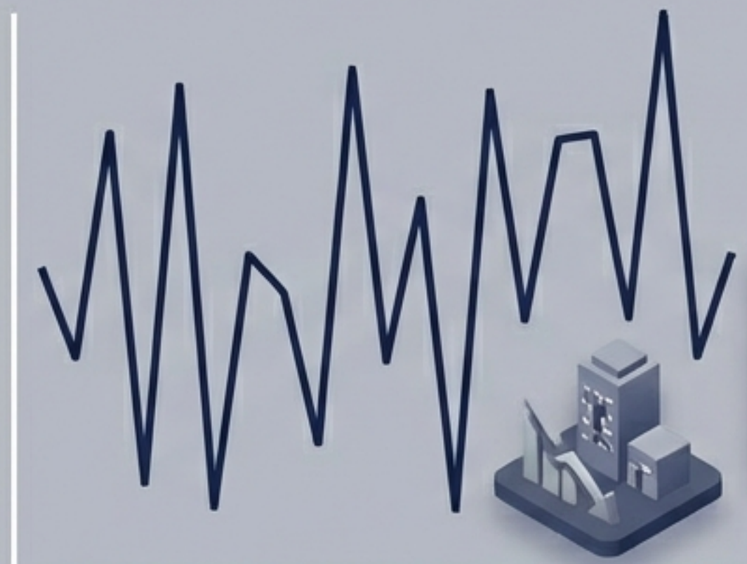
【Step 5】スキル育成と工賃施策を連動させ、過負荷を防ぐ



利用者の成長目標と工賃向上を切り離さない。
過負荷を避けながら段階的な成長を促す設計が必要。

NotebookLM

変革事例：売上施策と作業運用の同時改善



【Before】AF事業所の課題。
工賃が月ごとに乱高下し安定しない。

実施内容：算出基準の統一、
案件ポートフォリオ再編、
品質チェック工程の追加



【After】平均工賃が安定的に改善。
納期遅延と再作業が激減。

「売上」と「作業運用」を同時にテコ入れしたことが最大の成功要因。

NotebookLM

運用の見える化を実現する3つのコアKPI

平均工賃月額



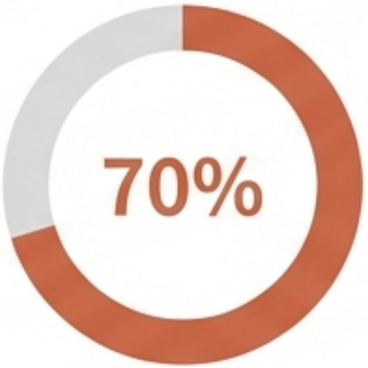
定義：規定基準で算出した月額
目標：前年比改善 / 頻度：月次

再作業率



定義：再作業件数割合
目標：前月比低減 / 頻度：月次

継続契約率



定義：継続案件の割合
目標：70%以上 / 頻度：四半期

NotebookLM

3つの失敗パターンと監査・品質チェック

失敗パターン



1. 売上だけ追う
（品質低下を招く。再作業率の同時管理が必要）

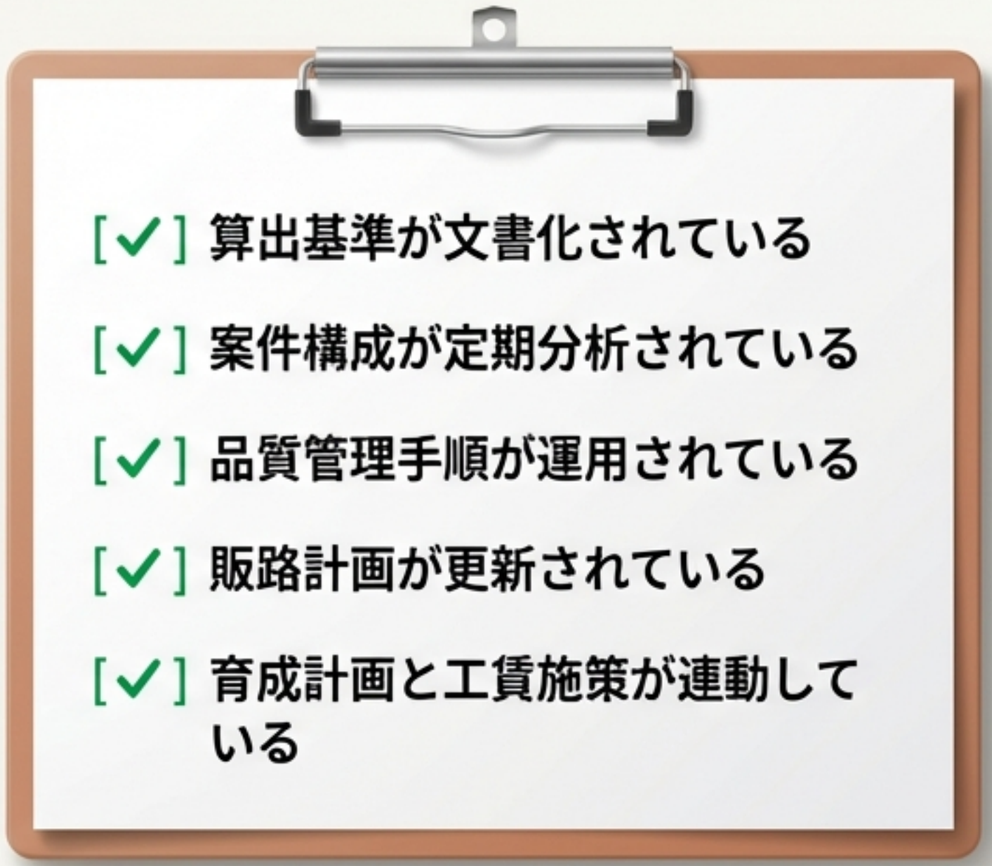


2. 算出基準が毎回違う
（改善のトラッキングが不可能になる）



3. 育成投資を削る
（中長期的な生産性が低下する）

監査チェックリスト



- [✓] 算出基準が文書化されている
- [✓] 案件構成が定期分析されている
- [✓] 品質管理手順が運用されている
- [✓] 販路計画が更新されている
- [✓] 育成計画と工賃施策が連動している

NotebookLM

制度とガイドラインに準拠した運用基盤



これらの法令・ガイドラインを遵守し、透明性の高い運用基盤を維持することが大前提となる。

NotebookLM

工賃向上は単なる収益施策ではなく、中核となる「支援品質施策」である



算出の透明性と運用改善を両立し、
持続的な向上を実現しましょう。

NotebookLM